



栃の子だより

平成 28 年 8 月 26 日

No.7

文責：寺島 寿一

あいさつ いのち うんどう・うたごえ えがお おもいやり

2 学期の始業式の話より

長い夏休みが終わり、今日登校してきたみんなは、元気いっぱいのあいさつをしてくれるお友だちがいた一方、たくさんの荷物を抱えて朝から疲れているお友だちもいました。学校生活に慣れるには少し時間がかかるかもしれませんが、こうして始業式に集まったことが、いい夏休みであったと想像できます。

夏休み前、1 学期の終業式では「鍛える夏休み」として「体を鍛える」「頭を鍛える」「心を鍛える」と話しましたが、どうだったでしょうか。また、「感動の夏休み」ということで、リオ・オリンピックで活躍する選手の姿に、みんなも大きな声援を送り、そして大きな感動や勇気をもたらしたことでしょう。みんなはどの選手の姿が印象に残っていますか。

今回のオリンピックでは、長野県出身選手たちの活躍がありました。バトミントンの奥原選手、シンクロの箱山選手、そして 50 キロ競歩の荒井選手。いずれも銅メダルを獲得しました。

長野県出身選手の夏季オリンピックのメダリストは、北京オリンピック 400 メートルリレーの塚原選手の銅メダル以来となりますが、今回一気に 3 人の選手が獲得しました。

オリンピック出場した選手は、出場を叶えるだけでなく、メダル獲得という大きな目標に向かって努力してきました。

しかしながら、努力したからと言って必ずしもオリンピック出場やメダル獲得はできません。でも、オリンピック出場を叶えたり、メダルを獲得したりした選手は、必ず努力しています。目標に向かっての努力は、決して無駄にはなりません。

この夏休み、信濃毎日新聞に小山小学校の 4 年生から 6 年生の代表のお友だちの「将来の夢」という作文が掲載されました。「学校の先生」「爬虫類学者」「エンジニア」「甲子園出場」「プロ野球選手」「ペットショップの店員」「ピアニスト」「鉄道整備員」といった夢をもつお友だちに対して、私はとても素晴らしいと思いました。それは、その夢を目指す願いや動機が明確で、そのために今やらなければいけないことや頑張りたいことをはっきり自覚できていたからです。

ここにいるみんなも、それぞれ夢を持っているはずですが、でも、その夢は、思うだけや願うだけでは叶いません。その夢実現のための強い思い・動機やそのための日々の行動・努力が必要です。

今発表のあった 1 年生の「縄跳びや水泳を頑張りたい」「計算を間違えないようにしたい」6 年生の「運動会や音楽会を頑張りたい」「自主学習を充実させたい」も同様です。

「夢といった目標」「それを実現させたい動機」そして「日々の行動」それによって、みなさん自身が周りから見られています。2 学期には、運動会や音楽会といった行事があります。それぞれの行事に対して自分なりの思いを持って、目標を立て、取り組んでいってほしいと思います。目標に向かって努力するみなさんに対して友だち・家族そして学校の先生たちは心から応援し、そしてみなさんは大きく成長することができるはずです。

暑さがまだまだ厳しい日が続きますが、できるだけ早く夏休みモードから学校モードへ切り替えて、頑張っていきましょう。

「灯籠づくり教室」
須坂市児童青少年育成委員会 善行賞受賞



「竜ヶ池灯籠流し」は昭和20年代まで行われていましたが、その後一時途絶えてしまいました。それを平成17年に復活させ、平成19年からは「竜ヶ池灯籠流し実行委員会」を設置し、区三役さんや各町の分館並び育成会役員等の皆さんにより毎年実施されてきています。

毎年、実行委員会の皆さんが小山小学校2年生を対象に「灯籠づくり教室」として来校していただき、子どもたちと共に灯籠づくりを行っています。

その「灯籠づくり教室」に対して、このたび須坂市児童青少年育成委員会より善行賞が贈られることとなり、8月8日(月)「第12回竜ヶ池灯籠流しの夕べ」において、表彰式が行われました。

本来なら「灯籠づくり教室」を毎年企画していただいている灯籠流し実行委員会が受賞すべきところですが、今回小山小学校の2年東組・西組や各町の育成会に対して表彰状をいただきました。授賞式に参加した子どもたちは、その表彰状を受け取ったことに対して本当に喜んでしました。

そして、当日は約600人の方々が参加し、灯籠流しや燈明まつり・屋部町の子ども神楽等が行われ、夏の夜空を厳かな光でもしました。子どもたちにとって思い出となる夏のひと時でした。

8月24日(水) 学校保健委員会
「子どもが育つ食のチカラ」

～あなたは あなたの食べたものでできている～

講師 須坂市学校給食センター

栄養教諭 高橋 和子 先生



高橋先生からは、朝食の大切さ…それも御飯だけでなく「おかずのある朝食」が体調管理や学力定着の上で重要であるというお話がありました。

家庭で行う「食育」は、家族と一緒に食べ物に触れ、作り、味わうことで「心身の健康」「食事の重要性」「感謝の心」「社会性」「食品を選択する能力」「食文化」といった食に関する指導目標が達成できます。

子どもたちの生活習慣を整えることは学力の定着・向上につながります。そして、その基となるのが食事です。人生80年として一生の食事の回数は約9万回、そのうち義務教育での給食は、1,800回の2%に過ぎません。ご家庭で須坂市の「食育リーフレット」をもとに改めて話し合ってみてください。

非違行為防止研修について

小山小学校では、非違行為防止に向けた研修を定期的に行っています。これまでの取り組みの状況についてお知らせします。

4月	飲酒運転根絶、体罰・セクハラ・個人情報の取扱い等の信用失墜行為に対する誓いの自著	・ 年度当初にあたっての非違行為防止についての確認…「飲酒運転・スピード違反の根絶」「体罰の禁止」「スクールセクハラ・パワハラ防止」「個人情報の管理」「公金の適正な管理」等
5月	同上に関わる振り返りチェックと署名	・ 「信頼を得るための振り返りチェックシート」の実施 ・ 「懲戒処分を受けた本人のコメント要旨」を読みあい、非違行為の影響の大きさについて再確認。
6月	同上に関わる振り返りチェックと署名	・ 「信頼を得るための振り返りチェックシート」の集計結果をもとに、本校で心掛けたいことの確認。 ・ 「非違行為根絶に向けて」事例2(盗撮)や「県迷惑条例違反」の新聞記事を基にした話し合い。
7月	同上に関わる振り返りチェックと署名	・ 「非違行為根絶に向けて」事例5(個人情報の紛失)を基にした話し合い。
8月	同上に関わる振り返りチェックと署名	・ 「非違行為根絶に向けて」事例4(ストーカー行為)を基にした話し合い。

5月より行われていた学校周辺の道路工事・信号設置工事が一部完成し、8月29日(月)の下校時より通行が解除されます。道幅が広がり、車の通行量の増加・車のスピードアップが予想されます。登下校での注意を家庭でもご指導ください。